

沖縄県における MICE誘致・開催の取組み



第18回 国際会議等各種会議の
沖縄開催の推進に係る各省庁連絡会議

1. 沖縄振興の基本方向

■ 沖縄21世紀ビジョン基本計画（平成24年5月15日）

● 21世紀「万国津梁」実現の基盤づくり

アジアをはじめ世界との新たな連携・強力関係を構築するため、文化、教育、経済、科学技術、環境、医療、平和などの分野で多角的交流を推進することにより、我が国及びアジア・太平洋地域の平和と持続的発展に貢献する交流ネットワークを構築します。

● リーディング産業と地場産業が好循環構造をもつ経済の構築

リーディング産業である観光リゾート産業については、世界水準の観光リゾート地として、(中略)国内外に評価されるよう、産業の量的拡大と高付加価値化に戦略的に取り組みます。

■ 国家戦略特別区域の一つに沖縄県【国際観光拠点】を位置づけ

（国家戦略特別区域を定める政令（平成26年5月1日政令第178号）

「世界水準の観光リゾート地を整備し、ダイビング、空手等の地域の強みを活かした観光ビジネスを振興するとともに、沖縄科学技術大学院大学を中心とした国際的なイノベーション拠点の形成を図ることにより、新たなビジネスモデルを創出し、外国人観光客等の飛躍的な増大を図る。」

2. 政府における国際会議等MICEの位置づけ

●「国際会議等各種会議の沖縄開催の推進について」

(平成12年6月20日 閣議了解)

- 「国際会議等各種会議の沖縄開催の推進に係る各省庁連絡会議」の設置
- 向こう5年間の計画策定等
- 誘致活動の強化
- 国際会議等の受け入れの円滑化

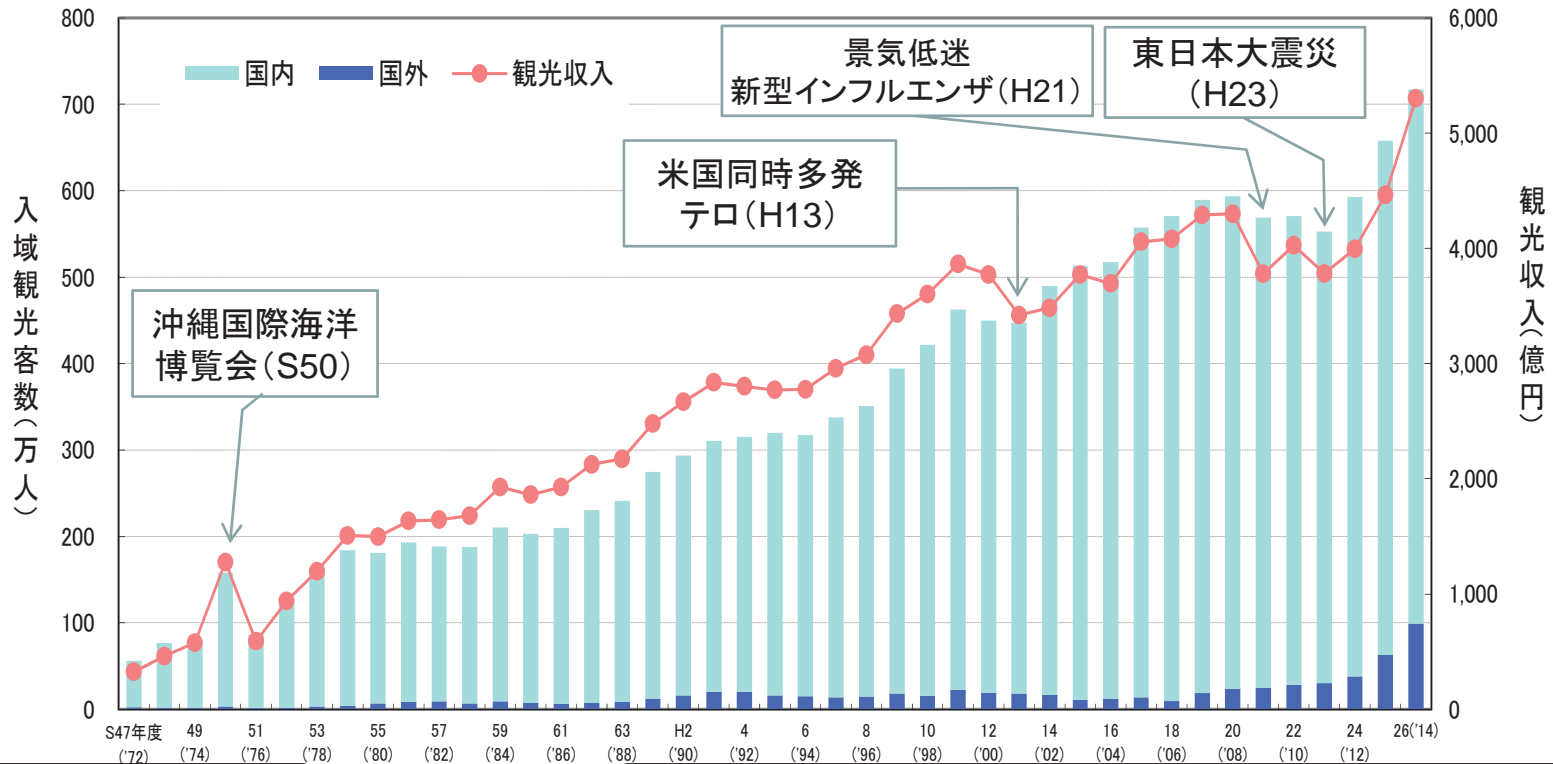
●観光立国推進閣僚会議「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014

(平成26年6月17日)

MICEの誘致・開催は、国際会議や企業研修等への参加を通じて、国際ビジネス・イノベーション拠点としての日本の都市の魅力を発信することにより、日本へのビジネスの呼び込み、対内直接投資・拠点機能の誘致等を促進する機能を有する。

3. 沖縄県観光の現況

1. 入域観光客数と観光収入の推移【年度】



1972年度 (昭和47年度) 入域観光客数 56万人 観光収入 324億円	➔	2013年度 (H25年度) 入域観光客数 658万人 観光収入 4,479億円	➔	2014年度 (H26年度) 入域観光客数 717万人 (59万人増) 観光収入 5,000億円超 (見込み)
--	---	--	---	---

➤ 平成26年度の入域観光客数は716万9,900人で、これまでの過去最高であった平成25年度の658万300人を大きく上回った。